



2022年度 第2回(6/12)親子森林教室の報告

■この日の活動テーマは～木のタネをまく～

それではこの日体験(たいけん)したことを振(ふ)り返(かえ)ってみましょう⇒⇒⇒

【播種(はしゅ)体験①】播種とはタネをまくこと。森を育てる最初の活動と教えてもらいました。

【オヒョウニレのタネ集め班】森の奥、E-3区に設置されたシードトラップよりタネを拾い集めました。

【エゾヤマザクラのタネ集め班】2班に分かれ、駐車場の周りのエゾヤマザクラからタネを集め、そのタネを砂(す)ずり(砂の入ったザルの中でスリスリ)して果肉(かにく)を取り除き、芽が出やすいようにタネにキズをつけました。



▲シードトラップのオヒョウニレのタネを拾(ひろ)う



▲エゾヤマザクラのタネをとる



▲エゾヤマザクラのタネの砂(す)ずり

【播種(はしゅ)体験②】

【タネの話】木はどうやって増えるんだろうか？タネってどうやって運ばれるんだっけ？タネの話、覚えてますか？自然界(しぜんかい)のチカラや仕組(しく)みってすごいことを知りました！

【ポット苗作り】集めたオヒョウニレとエゾヤマザクラのタネをポットにまいて一人2つの「マイポット」を作り、苗畑(なえはた)に置きました。これから芽を出すのを観察(かんさつ)していきます。



▲タネの話



▲マイポット作り



▲タネをまいたマイポットを苗畑(なえはた)に

【森の活動フリータイム】選んで楽しむ3コース

■Aコース：五感を使って森歩き



＝からだ全体で森を丸ごと感じましたね＝

- ・目で見ると/木の様子やエゾサンショウウオを観察
- ・耳で聞く/木の幹に聴診器(ちょうしんき)を当て木の音を聞く
- ・鼻で嗅ぐ/葉っぱのにおいを嗅(か)ぎました
- ・口で味わう/キハダの皮を口に含んで。味は??
- ・手で触る/葉をさすって表と裏の違いを確認

■Bコース：森の花の観察



小屋前広場を出発～中流橋あたりではササバギンランやギンリョウソウと満開のハクウンボクなどを観察しながらキャリコ橋へ。付近のホダ場でシイタケ狩り、その後広場に帰る途中ではマムシグサやツクバネソウ、トケンラン等もを観察しました。

■Cコース：森の掃除屋



D4-区で、冬に切った小枝を集めてチップperでチップにしました。初めての経験(けいけん)だったと思うけどどうだったかな？

体験(たいけん)をとおして、木は切られた後も役に立っていることを知りました。

よろしく!!!〔この日から参加の新隊員〕

【まとめと終礼】

今日のおさらいをして隊員から感想を聞きました。



▲菱田一真くん・悠真くん



▲阿部瑛斗くん・絢斗くん



▲おみやげのシイタケ

＝第3回の開催案内＝

■開会日時：7月10日(日) 14時～20時→→→時間帯にくれぐれもご注意ください。

【活動テーマとねらい】 工作をして夜の森を探検する

- ①木を育てる：下草刈り体験：親子一緒に鎌(かま)をつかって木の生長のじゃまになる草を刈ります。
- ②木や木の実を使った工作：
 - ・4～6年生の継続の森しり隊員=巣箱作り
 - ・4～6年生の新規の森しり隊員=ドングリそろばん作り
 - ・森しり隊ジュニア(1～3年生)=森の小枝や葉っぱ、実を使って木工クラフト作り
- ③コウモリの話とスライドをみる：動物写真家の中島宏章さんにより、スライドを観ながらコウモリの話聞きます。
- ⑤夜の森を歩いて観察し、コウモリを探(さが)してホタルをみる：ホタルの一生について聞いた後、夜の森を歩き森内を流れる川のそばでホタルを観賞します。また超音波探知機でコウモリが出す音をききます。

【当日の注意事項と用意する物】

- ・終了時間前に退出される方は車の駐車場所に留意して停めてください。
 - ・持ち物については通常の持ち物の他に
- ①夕食 ②多めの飲料水 ③懐中電灯又はヘッドライト ④必要な方は汗をかいた場合の着替え ④虫除けスプレー又は携行用蚊取り線香や防虫網など、必要に応じて虫除け対策装具を持参してください。

【その他】

- ・朝の検温をお願いします。熱・咳など風邪の症状がある場合は、参加をお控えください。
- ・当日の天気によっては熱中症に十分お気を付けください。
- ・雨天中止の場合は前日または当日朝7時30分までに協会から連絡します。その場合は7月17日に順延となります。
- ・当日参加できない場合は必ず事前連絡を！下記のいずれかへ
森しり隊長(清澤:080-1881-7900)または事務局(松藤:090-6697-8839)に連絡願います。